

台湾台中市視察報告書

貝塚市議会議長
藪内 留治 殿

令和5年2月8日

参加者

新政クラブ

南野 敬介

真利 一朗

今回の台湾視察の目的は、令和3年10月6日、本市が東京2020オリンピック大会において、台湾の女子卓球チームのホストタウンとして登録されたことを契機に、オリンピック大会後も、継続して台湾との交流を推進するため、現在まで長年にわたり、かいつか国際交流協会 KAIFA が、ホームステイの受け入れなど交流を続けている「台湾国立台中科技大学」が所在する台中市北区と友好交流協定をオンラインで締結しました。

また、それに伴い昨年の12月から貝塚市立第五中学校において、台中市北区にある立人国民中学校との交流がオンラインで行われています。

これまでコロナ禍により対面での直接交流が出来ませんでしたでしたが、渡航制限等が緩和されましたので、2月5日（日曜日）から7日（火曜日）までの3日間の予定で、協定締結以来、初めて台中市北区を表敬訪問することになりました。

この機会に、北区区長等に対し、貝塚市市制施行80周年記念式典へのご招待や、今後の本格的な交流に向けた意見交換を実施しました。

台湾視察団メンバー

理事者側：酒井市長・河野副市長・茶谷部長・井谷事務局長・梅本課長 5名

議員団側：藪内議長・南野副議長・食野議員・平岩議員・中川議員・樽谷議員・真利議員
7名

行程：2月5日（日）

関西国際空港 12：55発 エバー航空BR131便 にて台北桃園空港 15：05着

桃園駅発 17:01 台湾新幹線で台中駅へ到着後ホテル台中全国酒店に宿泊

行程：2月6日（月）

11:00 台中市北区役所 1階ロビーにてお出迎えを受け、5-1会議室にて「台中北区・貝塚市友好交流会」開催

交流会次第

- 11:05～11:15 北区側・貝塚側の出席者紹介
- 11:15～11:20 双方代表者挨拶 北区 呉 区長・貝塚市 酒井市長
- 11:20～11:30 記念品・お土産交換
- 11:30～11:40 双方PR動画放映
- 11:40～12:00 交流議題討論

昼食会 12:15～13:30

視察見学

台中市孔子廟と国立台中科技大学

行程：2月7日（火）

台中駅 10:36 発 台湾新幹線で桃園駅 11:18 着後 台北桃園空港へ

台北桃園空港 13:00 発 エバー航空BR130便にて関西国際空港へ 帰国

* 2月6日（月）の視察報告

台中市北区役所表敬訪問



実施日 令和5年2月6日（月）



令和5年2月6日（月） 午前11時、台中市北区役所に到着。

1階ロビーにてお出迎えを受けた後、区役所5階の会議室「表敬訪問歓迎会場」に移動。

北区側・貝塚市側出席者の紹介後、代表者の台中市政府民政局吳局長、貝塚市酒井市長の挨拶があり、記念品・お土産の交換があり

ました。吳局長はこの後公務のため退座されました。

挨拶後双方区・市のPR動画放映があり、北区側が林麗蓉科長、陳明毅代理区長に代わり交流討論会が開始されました。

陳代理区長・林科長から

- ① 「コロナ対策」について状況の報告と貝塚市の状況と対策について
- ② 現在進んでいる「第5中学校の教育（オンライン）交流」の充実と他校へ拡充について
- ③ 公園・遊歩道施策についての3項目、台中市北区の例を話され、貝塚市の現状について質問がありました。

答弁は担当部長、副市長、市長の補足説明で対応しました。

その後場所を移して区役所出席者と貝塚市視察団との昼食会が開催され、各卓にて意見交換がされていました。

会話の中で今年度80周年を迎えるにあたり記念式典等へのご招待のお話もさせていただきました。



台中市孔子廟見学

訪問日休館にも関わらず視察団のために開館していただき、尚且つ丁寧な説明者付きで見学することが出来ました。



台湾国立台中科技大学訪問



かいづか国際交流協会「KAIFA」の会員宅で毎年夏に台湾国立台中科技大学学生約10名が、1週間ほどホームステイをしながら滞在中の日本語学習や観光・交流などをKAIFA会員が企画・運営をされています。

会合には、「KAIFA」のホームステイでお世話になっています張 宣樺先生達ともお話ができ、科技大学とKAIFA間だけでなく貝塚市と北区も関わることが出来ないかなどの提案をしました。

KAIFA 会員も高齢化が進み苦慮していることも張先生も危惧されておられ、共通した課題であると確認できました。

今回の台湾台中市北区の視察についての感想ですが、先方北区職員、科技大学の先生（通訳の林先生も同学教授）達とのコミュニケーションが取れたことは大変有意義であり、今後の両市の関係をより深く続けていく起点になったかと思われま。機会があれば米国の姉妹都市「カルバーシティ市」とも視察交流（記念イベント時）をしていくことも検討を頂きたいと思います。

その時には、少数精鋭の視察団の団長である市長と公私を含めもっと交流を深める良い機会であると思います。市長の積極的な行動で意思疎通を図って欲しいと願います。